

2つのサイエンス研修旅行

米沢興譲館 SSH通信

第8号

平成24年12月25日
米興高SSH企画部



平成24年度
山形県立米沢興譲館高等学校
スーパーサイエンスハイスクール事業
第一学年 東京サイエンスツアー
研修のしおり
平成24年11月15日(木)～16日(金)

東京キャリア研修

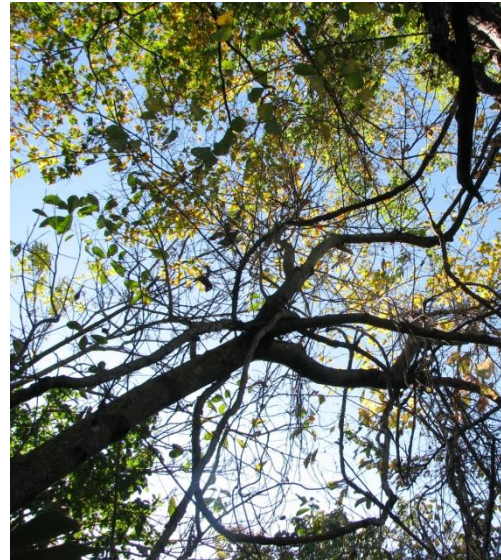


東京駅 東京の表玄関とも呼ばれるターミナル駅で、プラットフォームの数は日本一多く、在来線が地上5面、19線と地下4面、8線の合計計23線、新幹線が地上5面、30線、地下計は地下1面、3線を有しており、面積は東京メトロの3.8倍位に相当する。東横線と有楽町線の駅はJR東日本が設計したもので、1914年に開業し、2009年に国の重要文化財指定を受けている。この駅が1970年代に完成したことで、2009年に国の重要文化財指定を受けている。2007年より、東横線・有楽町線 複線区間が複線化されて2面4線となった。2012年に、東京メトロ有楽町線(有楽町線)が開業し、同年10月1日に全線開業した。なお、東京メトロ有楽町線(有楽町線)が開業した4月から営業を休止していた駅舎内の「東京ステーションギャラリー」も全面閉鎖となり同日に拡大開業した。【東京メトロ有楽町線(有楽町線)も閉鎖を拡大して再開業した。】(Wikipedia 参照)

平成24年11月13日(水)～15日(金)
平成24年度
山形県立米沢興譲館高等学校 第2学年

先月13日～15日2泊3日の日程で2年生が、15・16日1泊2日の日程で1年生が首都圏を中心とした研修旅行を行った。2年生の研修旅行は、進路学習の一環として大学及び施設等を見学することで進路意識を高め、進路形成の一助とすることを目的とした「東京キャリア研修」である。1年生の研修旅行は、地方では体験できない首都圏を中心とした先端的な科学関連施設(国立科学博物館等)での研修を行うことで、科学への興味・関心を一層高めるとともに、科学リテラシーの涵養を図ることを目的とした「東京サイエンスツアー」(SSH事業)である。

2年東京キャリア研修内つくばサイエンスツアー



つくば森林総合研究所を訪れて

2年 佐藤卓(宮内中出身)
森林総合研究所については訪問が決まったときから色々事前学習を行ってきたのでおおまかな研究内容は知っていたのですが、実際に訪れてみると自分の予想とははるかに違っていることに驚きました。

特に意外だったことは森林浴の効果について研究を行っているということ、そしてその内容でした。森林浴という言葉は以前から聞いたことはあったのですが、その言葉について深く考えたことはありませんでした。しかし、今回の講義を聴いて改めて考えてみると非常に深く、健康を保つ方法としてとても理にかなったものだというのに気がきました。森の中にいると何となく心地がよいのもフィトンチッドという物質を樹木が発散しているからであるということを知り、普段は当たり前のこととして片付けてしまっていることも深く考えてみるとそこには明白な理由や新しい発見があるということをとて面白いと感じました。

今まで森林に対して抱いていたイメージががらりと変わって新しい世界が見えてきたような気がします。また、改めて学ぶことの楽しさというものを認識できるようなになり、学習への意欲・関心が高まったような気がします。この講習が今後の生活に良い影響を与えてくれると思います。

1年東京サイエンスツアー及びFSコース別研修



「文化財保存と科学」コース

「英語発音と科学」コース
(於 千葉大学工学部)
1年 前山みなみ(米沢六中出身)
自分の進路がまだあまりはっきりしていない私にとって、千葉大学工学部を訪問し、かなり深い部分まで見学できたことは大きな財産になったと思います。
薬学や看護が強い千葉大学と事前学習の頃から聞いていたので、工学部?どんなところ?と聞いていました。本校を卒業された先輩が1つ1つの学科・教室を丁寧に説明してくださったので、工学部と千葉大学について詳しく知ることができました。
事後学習では、みんなの濃い内容の発表を聞き、様々な意見を自分の中に取り込めて良かったです。自分の中では、この研究はどうして世の中の役に立っているのだろうか?と考えていましたが、みんなの話を聞いて、「なるほど、犯罪の防止にも使えるんだ」、「機械の感情について面白かった」等、いろいろなことを感じる事ができるプレゼンテーションで良かったです。
これからも英語発音と科学についての理解を深めていきたいです。
一つの分野のみを考えるのではなく、広い視野で世の中を見渡し、今、世の中に何が必要なのかを考えて、世の中の役に立つような人間になりたいです。

第2回フィールドワーク研修(カルデラ等)



10月21日、郷土の豊かな自然に触れ、自然に対する親しみと正しい理解を深め、豊かな情操を育むことを目的として、1年生全員が地域の自然環境を体験的に学ぶ第2回フィールドワーク研修が実施された。本研修は本年度SSH事業の中心になっている学校設定教科・科目『異分野融合サイエンス』の授業である。異分野を融合するという観点から、地形・断層などの自然科学はもちろん、歴史等も統合的に学習する機会となった。
はじめに、元南陽市立漆山中学校校長 安部昇一先生による火山やカルデラに関する講義、本校地学教員による本地区の地形等の講義がなされ、その後、それらの地域を実際に訪問した。自分が住んでいる地域でも初めて訪れる場所だったので。行く先々で歓声がおきていた。

